



都市の記憶を継承するリノベーションのあり方

渋谷駅、下北沢駅などを実例とした、駅前空間の再開発計画を再考する

課題要旨

2013年3月末、渋谷駅に隣接する東急東横店東館が閉館した。東急百貨店東横店の前身である「東横百貨店」が、この東館の敷地で営業を開始してから79年の幕を下ろしたことになるという。跡地には、ヒカリエと肩を並べる超高層のビル群が計画されている。

また、1964年以来約50年にわたって親しまれてきた、東急東横線のヴォールト天井が連なる渋谷駅ホームも、2013年3月16日の東横線と東京メトロ副都心線の相互直通運転の開始に伴い、その役目を終えた。東横線の地上駅の開業は1927年まで遡るから、その歴史は85年にもおよぶ。この東横線旧渋谷駅のホームは、3月26日から5月6日までイベント・スペースとして使用された後、解体される予定である。(http://www.ekiato.jp)

また小田急線では2013年3月23日をもって、下北沢駅を中心とする東北沢駅～世田谷代田間を地下化した。残された地上部では新駅舎の建設工事、駅前空間の再開発がはじまろうとしている。だが、下北沢駅前空間の再開発計画については、多くの反対意見も寄せられ、下北沢の記憶の継承を求める声と、便利な開発を求める声とが、真っ向から対立しているようである。

本スタジオでは、上述の渋谷駅周辺もしくは下北沢駅周辺のどちらかを選択し、現地調査、現況の開発計画の詳細な調査をしたうえで、都市空間の記憶を継承する提案を設計する。いずれの敷地についても、すでに再開発のマスタープランが示されているが、そこには長いあいだ人々に親しまれた「都市の魅力」を伝える記憶の継承という視点は欠如しているように思われる。すでに発表されている計画に対して、そのマイナーチェンジでもフルモデルチェンジでもよいが、記憶の継承という観点から、よりよい駅前空間の提案をしてほしい。

本スタジオは「リノベーション」というキーワードを挙げているが、単体の建物を保存・修復、あるいはコンバージョンするかということにとどまらず、「都市の記憶」としての魅力的な空間（駅舎空間、高架の上下、路地裏商店街、etc.）をいかに継承し、リノベーションするかということをテーマとしている。したがって、実務的なアプローチよりもむしろ既成概念を打ち砕くようなアイデアが求められる。

指導担当：加藤耕一

オブザーバ：宮部浩幸氏（SPEAC, inc.）

エスキス場所：Room 306（加藤研）

初回ガイダンス：4月16日（火）15:00～

履修条件・人数制限：学部生のみ

スケジュール（基本的には毎週火曜日13:30に集合）

4月16日	初回ガイダンス (この日のみ、 15:00に集合)
5月21日	歴史系合同中間講評会（13:00から）
5月28日	全体中間講評
6月27日	歴史系合同講評会（14:30から）
7月02日	提出・ポスターセッション
7月09日	選抜講評会

※ 4/16のスタジオ内ガイダンスまでに、スタジオ履修者は、
渋谷・下北沢の敷地見学を一度済ませておくこと！

スケジュール（基本的には毎週火曜日13:30に集合、木曜日は希望に応じる）

4月16日：15時から（ガイダンス、敷地の仮決定、渋谷チームと下北チームのそれぞれで役割分担）

4月23日：再開発計画についてのまとめ、チームごとの発表 + 現地調査報告、個人による発表

4月30日：再開発計画についてのまとめ（チーム） + 現地調査報告（個人）

5月07日：エスキース（現状調査からコンセプト作り）→ ひとり最低3案準備する

5月14日：エスキース（現状調査からコンセプトと作品案作り）→ ひとり最低3案準備する

5月21日：歴史系合同講評会（13:00から）

5月28日：中間講評

6月04日：エスキース（設計案）

6月11日：エスキース（設計案）

6月18日：エスキース（設計案）


6月27日(木)：歴史系合同講評会（14:30から）


7月02日：提出・ポスターセッション

7月09日：選抜講評会


左記スケジュールのいずれかで
宮部浩幸氏のレクチャーを予定しています
SPEAC, inc. (<http://www.speac.co.jp>)
(レクチャーの日程は調整中)


現地調査・再開発計画案の調査と検討

 現地調査により、保存べき街の魅力と記憶を発見する → 取り壊し間近なものが多いので、緊急調査


 図面調査、現地での実測調査などを行い、設計対象地の具体的なスケール、構造システムなどをおさえる

エスキースの進め方

 前半は、異なるアイデアをひとり最低3案ずつ出しながら、エスキースを進める


 前半はアイデアを絞り出すことに全力を傾け、後半はプレゼンに全力を傾ける

提出物

 中間講評：

【チーム】再開発計画についてのまとめ（図面、ダイアグラム、スケッチ、etc.）をチームごとに

【個人】設計案（コンセプト、ダイアグラム、etc.）をレイアウト + 模型

 最終提出：

【個人】図面 + 模型